

【中国・四国 EST 創発セミナー参加者募集中！ <http://www.estfukyu.jp/sohatsu3.html>】

ESTメールマガジン 第 16 号(2007.11.26)

発行: 環境的に持続可能な交通 (EST) 普及推進委員会事務局

## □目次

### 1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 16 回)

#### ●「環境問題と鉄道の関わりについて」

【環境的に持続可能な交通 (EST) 普及推進委員会委員 大藪 譲治】

### 2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第 16 回)

#### ●「八戸市における EST モデル事業のご紹介」

【八戸市都市開発部都市政策課 三浦 一範】

### 3. ニュース／トピック

#### ●第3回アジアEST地域フォーラムの開催について【環境省】

#### ●2006 年度(平成 18 年度)の温室効果ガス排出量速報値について【環境省】

#### ●地域公共交通総合連携計画の送付及び軌道運送高度化実施計画の認定申請【国土交通省】

#### ●「モビリティ・マネジメントによる「エコ通勤」促進行動計画」の採択について【国土交通省】

#### ●交通局実施プラン中間報告【札幌市】

#### ●公共交通利用促進プロジェクト【仙台市】

#### ●コミュニティバス・乗合ジャンボタクシーの運行について【柏市】

#### ●流入車対策の実施について【大阪府】

#### ●広島市のマイカー乗るまあデーの取組み【広島市】

#### ●「環境 ITS プロジェクト」モニター実験の開始【特定非営利法人 ITSJapan、環境 ITS 推進委員会】

#### ●11 月 1 日から距離別割引社会実験を毎日実施【首都高速道路】

#### ●環境レポート 2007 を発行しました【日本自動車工業会】

#### ●「外部電源式アイドルストップ冷暖房装置」サイトをオープン【東京電力】

### 4. イベント情報

#### ●中国・四国 EST 創発セミナー ～環境にやさしく、まちを元気にする公共交通利用促進～

#### ●大阪モーターショー

#### ●第 6 回 ITS シンポジウム 2007

#### ●福岡自動車博覧会 ～九州からアジアへ クルマの未来と文化を発信

#### ●とよなか市民環境展 2007

#### ●京都環境フェスティバル

●自転車を利用しやすいまちづくりについてのワークショップ【広島市】

5. その他

●記事募集中！

=====

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 16 回)

●「環境問題と鉄道の関わりについて」

【環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会委員 大藪 譲治】

((社)日本民営鉄道協会 常務理事 大藪 譲治)

地球環境問題は、個々の国々の枠を超えて、まさに地球的な規模での対応が必要な大きな問題となっています。温暖化ガスの排出量の抑制は、国民ひとりひとりのつとめであるとともに、個々の業界がそれぞれ努力していくことが必要な課題となっていると認識しています。

環境問題と鉄道の関わりということでは、交通分野における鉄道の利用を促進することと鉄道事業者の中での環境対策を推進することの二つの面があります。第一の面では、鉄道は自動車に比べCO2排出量の少ない交通機関であり、鉄道利用の促進により、ひとびとの経済社会活動を阻害することなく「持続可能な成長」に貢献することができると考えています。このような考えから、(社)日本民営鉄道協会は、会員各社とともに、環境省や国土交通省などと連携しながら、広く鉄道の利用の促進を訴えています。

また、第二の面では、鉄道事業各社は、主として電力を使用して電車を動かすことから、車両自体の軽量化や電力消費量の少ない車両を数多く導入することにより、通勤通学などの輸送需要に応えながら、鉄道事業全体から排出されるCO2の抑制に努めています。このような取り組みは、個々の鉄道会社から発表される「社会環境白書」において明らかにされていますが、(社)日本民営鉄道協会は、業界全体での取り組みについて国の審議会や経済団体の会合などにおいて報告しています。今後とも、鉄道業界の最重要課題のひとつとしてしっかりと取り組んでいきたいと考えています。

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第 16 回)

●「八戸市における EST モデル事業のご紹介」

【八戸市都市開発部都市政策課 三浦 一範】

八戸市では、「人と自然と環境にやさしい環境先進都市」の実現を掲げる、「八戸市環境基本条例」を平成16年度に制定しました。この条例の趣旨を踏まえ、運輸部門における環境負荷低減対策として、バス路線網の再編・再構築等により公共交通の利用促進を図ることを軸に定め、環境的に持続可能な交通への転換を目指すことをテーマに、平成17年度に当モデル事業に応募した結果、モデル地域に選定されました。

事業計画は、「公共交通体系の再編・再構築」、「環境的に持続可能な交通モデルの検討・周知啓発」、「バスを活用した環境対策」、「環境とひとにやさしい『みちづくり』」、の4つの柱で構成されています。

具体的な取組みとして、バス関連施策については、バス路線網の幹線軸の設定やコミュニティバス・コミュニティタクシーの導入による運行の効率化を図るとともに、携帯電話向け時刻表検索サービスや低公害バスの導入、エコ通勤定期券・子ども探検隊エコパスポートの発行、バスロケーションシステム導入によるバスの利用促進を3年間の事業期間の中で図っていきます。

また、渋滞緩和・道路環境整備等の施策として、高規格幹線道路整備、道路改良・4車線化、歩道整備・電線共同溝整備等を行っています。

このほか、啓発事業として、パンフレットやバスマップの作成・配布、CATVでの環境意識啓発番組の制作等に取り組んでいます。

現状として、公共交通への利用転換が進んでいるとはまだまだ言えない状況ではありますが、今後も引き続きハード・ソフトの両面から環境負荷低減へ向け取り組んでいきたいと考えております。

---

### 3. ニュース／トピック

#### ●第3回アジアEST地域フォーラムの開催について【環境省】

環境省と国際連合地域開発センター(UNCRD)は、平成20年3月17～19日に、アジアEST地域フォーラムの第3回会合を、シンガポールにて開催することを発表しました。アジアEST地域フォーラムは、アジア地域における環境的に持続可能な交通(EST)の実現を目指して、わが国とUNCRDが共同で設立した、政府ハイレベルによる政策対話会合です。環境省では、アジア地域を中心としてESTの実現に、引き続き積極的に取り組んでいく予定です。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=8980>

#### ●2006年度(平成18年度)の温室効果ガス排出量速報値について【環境省】

2006年度の温室効果ガスの総排出量(速報値)は、13億4,100万トンでした。京都議定書の規定による基準年(1990年)の総排出量と比べると、エネルギー起源二酸化炭素については6.4%上回っています。前年度の総排出量と比べると、エネルギー起源二酸化炭素について家庭部門、業務その他部門、運輸部門などからの排出量が減少したことなどにより、総排出量としては1.3%減少しています。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=9002>

#### ●地域公共交通総合連携計画の送付及び軌道運送高度化実施計画の認定申請【国土交通省】

富山市は、市が路面電車の軌道を整備し、運行を富山地方鉄道が行う「上下分離の特

例措置」を受けるため、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」施行後、全国初となる「地域公共交通総合連携計画」および「軌道運送高度化実施計画」を国土交通大臣に提出しました。

[http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/01/011114\\_2.html](http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/01/011114_2.html)

●「モビリティ・マネジメントによる「エコ通勤」促進行動計画」の採択について【国土交通省】  
公共交通利用推進等マネジメント協議会では、利用者サイド、交通事業者サイド双方の取組みをマッチングさせた実効性の高い取組みを促進するため、「モビリティ・マネジメントによる「エコ通勤」促進行動計画」について採択致しました。今後、本行動計画に基づき、同協議会においてエコ通勤の推進を図る事業所の公募を実施する予定です。

[http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/01/011121\\_2.html](http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/01/011121_2.html)

●交通局実施プラン中間報告【札幌市】

札幌市では、「さっぽろ元気ビジョン」に掲げる「市民の力みなぎる、文化と誇りあふれる街」を実現するためのプランとして、「さっぽろ元気プラン」を策定しました。また、「交通局実施プラン」を策定し、その運営方針のもとに、交通ネットワークの基軸となる「地下鉄」、札幌市として存続の方向性が打ち出された「路面電車」の事業運営を進めています。

[http://www.city.sapporo.jp/st/kotsu\\_jisshi\\_plan/kotsu\\_jisshi\\_plan.html](http://www.city.sapporo.jp/st/kotsu_jisshi_plan/kotsu_jisshi_plan.html)

●公共交通利用促進プロジェクト【仙台市】

仙台市では、国土交通省、NPOと協働しながら公共交通利用促進を目的に様々な取り組みを実施しています。道路・駅前広場などのハード施策、バス専用レーン、時差出勤、クルマを駅に駐車して電車で通勤するパークアンドライドなどのソフト施策を整備してきました。ここでは、今年行われている具体的な取組の例が示されています。

<http://www.city.sendai.jp/toshi/koutsukikaku/riyou/index.html>

●コミュニティバス・乗合ジャンボタクシーの運行について【柏市】

柏市では、公共交通空白・不便地域の解消、路線バスの廃止代替機能、公共施設への移動手段として、主に自家用車を利用しない方の日中の移動方法を確保し、「全市的な移動のしやすさの向上」を目標として、乗り合いジャンボタクシーを運行しています。11月23日より、その規模拡大を図り、コミュニティバスの導入、乗り合いジャンボタクシーの増便を行っています。

[http://www.city.kashiwa.lg.jp/notice/taxi/taxi\\_top.htm](http://www.city.kashiwa.lg.jp/notice/taxi/taxi_top.htm)

●流入車対策の実施について【大阪府】

大阪府では、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質に係る環境基準のより早期かつ確実な達成を図るため、「大阪府生活環境の保全等に関する条例」を一部改正し、自動車

NOx・PM 法の車種規制に適合しない貨物自動車・バス・特種自動車が府域の対策地域内へ発着することを禁止する運行規制を実施します。

<http://www.city.osaka.jp/oshirase/kankyojigyo/html/info6100110710293154.html>

●**広島市のマイカー乗るまあデーの取組み【広島市】**

広島市では、本年度、マイカー乗るまあデー（毎月 22 日、11 月は推進キャンペーン）の連携施策として、11 月 13 日から 12 月にかけて、広島市内のモデル校において、交通問題と地球環境問題をテーマとした環境学習を実施しています。

<http://www.city.hiroshima.jp/koutsuu/noruma-day/>

●**「環境 ITS プロジェクト」モニター実験の開始【特定非営利法人 ITSJapan、環境 ITS 推進委員会】**

ITSJapanと環境 ITS 推進委員会は、ITS を活用して市民一人ひとりの交通行動の変容を促す市民参加型の ITS 施策を「環境 ITS」と呼び、名古屋市・豊田市を中心とした愛知県下でモニター実験を行っています。実施期間は 2007 年 11 月 1 日～2008 年 1 月 31 日で、場所は愛知県・名古屋市・豊田市です。参加方法は、環境 ITS・HP で登録することで可能になります。

<http://e-its.jp>

●**11 月 1 日から距離別割引社会実験を毎日実施【首都高速道路】**

首都高速道路では、11 月 1 日より、全線で距離別割引社会実験を拡大して実施し、首都高速道路ならびに一般道路の利用状況に及ぼす効果・影響を把握するとともに、アンケートを実施しています。日曜・祝日については、既に距離別割引社会実験を実施しています。

<http://www.shutoko.jp/etc/guide/kyoribetu/index.html>

●**環境レポート 2007 を発行しました【日本自動車工業会】**

日本自動車工業会では、「環境レポート 2007」を発行し、自工会の主な取り組み、製品開発、生産における環境保全、リサイクル交通対策とエコドライブの普及という項目について現在の成果をまとめました。

[http://www.jama.or.jp/eco/wrestle/eco\\_report/index.html](http://www.jama.or.jp/eco/wrestle/eco_report/index.html)

●**「外部電源式アイドルストップ冷暖房装置」サイトをオープン【東京電力】**

東京電力株式会社は、駐車中のトラックの空調のため、外部から電力を供給する給電システムを開発しました。運送事業者の方々は、トラックに外部電源で動く冷暖房装置を搭載することで、本システムが設置されたトラックステーション等の駐車場において、休憩中、荷役作業中にエンジンを切って空調を作動することができます。このシステムを導入すると、駐

車中の長時間のアイドリングをせずに済むため、コストダウンが期待されるとともに、地球温暖化の防止や大気汚染の防止に貢献できます。

<http://www.tepco.co.jp/eco/i-stop/>

---

#### 4. イベント情報

##### ●中国・四国 EST 創発セミナー

～環境にやさしく、まちを元気にする公共交通利用促進～

日時:2007年12月6日(木) 13:30～16:30(13:00 受付開始)

場所:岡山コンベンションセンター 407 会議室

主催:EST 普及推進委員会、中国運輸局、四国運輸局

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu3.html>

##### ●大阪モーターショー

日時:11月30日(金)～12月3日(月)9:30～18:00

場所:インテックス大阪

主催:大阪モーターショー実行委員会

<http://osaka-motorshow.com/>

##### ●第6回 ITS シンポジウム 2007

日時:2007年12月6日(木)、7日(金)

場所:神戸市産業振興センター

主催:特定非営利活動法人 ITS Japan

<http://www.its-jp.org/event/symposium/sym06.htm>

##### ●福岡自動車博覧会 ～九州からアジアへ クルマの未来と文化を発信

日時:2007年12月7日(金)～10日(月)

場所:福岡国際会議場、マリンメッセ福岡、福岡国際センター、福岡サンパレス等

主催:福岡自動車博覧会実行委員会

<http://www.fukuoka-motorshow.jp/>

##### ●とよなか市民環境展 2007

日時:2007年12月7日(金)、8日(土)10:00～16:00

場所:豊中市立市民会館

主催:NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21

<http://www.5b.biglobe.ne.jp/~toyonaka/kankyoten/pdf/kankyouten07.pdf>

●京都環境フェスティバル

日時:2007年12月8日(土)、9日(日)10:00~16:00

場所:京都市伏見区 京都府総合見本市会館(パルスプラザ)

主催:京都府、京と地球の共生府民会議、京都府地球温暖化防止活動推進センター、財団法人自治総合センター

<http://www.pref.kyoto.jp/kankyofes/index.html>

●自転車を利用しやすいまちづくりについてのワークショップ【広島市】

日時:2007年12月15日(土)13:30~16:30

場所:広島市まちづくり市民交流プラザ 北館5階研修室

主催:広島市

<http://www.city.hiroshima.jp/www/contents/0000000000000/1190806000562/index.html>

---

5. その他

●記事募集中!

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。EST、または「交通と環境」に関連する取り組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。

→ E-mail: [EST@ecomor.jp](mailto:EST@ecomor.jp) (担当:市丸)

---

発行:環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局  
(交通エコロジー・モビリティ財団)

E-mail: [EST@ecomor.jp](mailto:EST@ecomor.jp)

EST ポータルサイト: <http://www.estfukyu.jp/>